

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、腎臓内科では、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名]

ロイド 依存性頻回再発型微小変化型ネフローゼ症候群に対するリツキシマブ治療後の長期経過についての検討

[研究対象者]

2008年3月～2023年12月までの間に、腎臓内科にて微小変化型ネフローゼ症候群と診断されリツキサン治療を受けられた方

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：診断名、年齢、性別、入院年月、既往歴、併存疾患名、アレルギー歴、アレルギー歴、検査結果（尿検査、血液検査、腎病理組織結果、骨密度）、治療経過等

[利用の目的] （遺伝子解析研究：無）

難治性ネフローゼ症候群に対しリツキシマブの効能効果が承認されましたが、長期的な治療効果や副作用についてはまだ報告が少ないのが現状です。そこで今回の研究では、リツキシマブ治療後の長期経過について解明することを目的としています。

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2029年1月までの間（予定）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者：東京女子医科大学 腎臓内科 教授 星野純一

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 腎臓内科 眞部俊

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9時～16時）